

委員会視察報告

市民病院あり方特別委員会

7月3日 北播磨総合医療センター

北播磨圏域では、医師不足による診療科の休診や、中核となる病院の不在など地域医療の課題を解消するために、北播磨総合医療センターが設立されました。

同センターは公立病院の改革や再編化の流れを受け、全国初の試みとして大学と行政が連携し病院の設置を行い、神戸大学医学部の協力を得て、三木市民病院と小野市民病院を統合し、それぞれの強みを活かした総合医療を提供することを目的としています。

また、患者と医療人を引き付けるマグネットホスピタルとしての役割を担い、地域の医療機関との連携も深め、軽症者は他の医療機関に紹介するなど地域で完結する医療の提供を行っています。開院前より医師も年々増加し診療が強化され、また診療科の新設も行われ、病院の維持、継続ができる

安定した経営基盤の確立を行われました。

交通面では、再編により病院が無くなる三木市側に医療センター直通のバス路線を整備するなどの対策も行われました。

しかし、受け入れ患者数からみると再編前の患者全ての受け皿にはなり得ていないことや、高度医療が身近で受けられる一方で混雑による待ち時間が長時間化していることなどの課題もあるようです。

以上のことから、再編による拠点病院の整備だけでなく、軽症者などを受け入れる一次医療機関との連携を強化し、症状の段階による役割分担を整理することが重要であると認識しました。

三田市の現状は、北播磨総合医療センターが設置される前の課題と似ており、この統合事例は三田市の今後の市民病院のあり方を検討する上でとても参考になるものでした。



広報委員会 研修報告

8月8日 議会広報クリニック研修

講師は、上場企業や大学の広報紙の制作を長年手掛けられている広報アナリストの吉村潔氏です。研修には全国から8議会25人が参加されていました。

文章を書く時の注意点やタイトルづくりのコツ、色の使い方等全体を通した講義を受けた後、事前に各議会から講師へ送付していた広報紙を、研修会の中でチェックしていただきました。三田市議会の広報紙について講師からは、一般質問記事の掲載の仕方が読みやすく分かりやすい、議会報告会の記事は開催だけでなくその後の経過も掲載している点が良いなどの評価をいただきました。改善点としては、視察報告の記事について横に長い文章は読むのに疲れるため、二段組にした方が良いなどのアドバイスがありました。

研修で学んだ読みやすい紙面づくりの手法を活かし、これからも広報委員会で力を合わせ、より良い紙面づくりに努めていきます。



新議員を紹介

7月22日より2名が新たに加わりました！



みたに よしお
三谷 禎勇 議員

【所属委員会】
福祉教育常任委員会
予算決算常任委員会

【会派】
盟政会



にしがみ としひこ
西上 俊彦 議員

【所属委員会】
経営政策常任委員会
予算決算常任委員会

【会派】
新政みらい

永年勤続表彰

森本政直議員、田中一良議員、長谷川美樹前議員が全国市議会議長会から10年以上の勤務を表し永年勤続表彰を受けました。



感謝状

厚地弘行議長、今北義明前議員が全国市議会議長会から評議員としての感謝状を贈呈されました。